



第66回文化財防火デー

予防課

昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂の壁画が焼損しました。このような被害から文化財を守るとともに、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年から、消防庁と文化庁の共同主唱により、法隆寺金堂が焼損した1月26日を「文化財防火デー」と定めて、文化財防火運動を全国で展開しています。

日本の文化財建造物はその多くが木造であり、美術工芸品についても木や紙又は布等の燃えやすい材質により造られているものが多く、火災により焼損する危険があります。

昨年4月のフランスのノートルダム大聖堂における火災や、10月に発生した沖縄県那覇市の首里城における火災を受け、文化財等の防火対策が推進されています。

文化財を火災から守るためには、火気管理等の出火防止対策を徹底することはもちろんですが、文化財関係者や関係機関だけではなく、地域住民との連携・協力が必要となります。

文化財防火デーには、文化財関係者、消防関係者及び地域住民が協力した訓練が、全国各地で実施されます。この機会に、文化財愛護の意識や、防火・防災意識の高揚に努めましょう。

文化財防火デー実施方針

- 1 国民一般の文化財保護に対する関心を高めるために、文化財部局及び消防機関は、この日を中心に積極的に防火訓練その他の防災訓練等の行事を実施するとともに、広報活動を行い、「文化財防火デー」の趣旨の徹底を図るものとする。
- 2 文化財所有者、管理者その他の関係者は、平素の文化財の防災体制の整備や防災対策の強化に加え、「文化財防火デー」においては、文化財は国民共有の貴重な財産であるということを再認識し、必要な措置を講ずるよう努力するものとする。
- 3 文化財を災害から守るためには、関係機関等及び文化財所有者等だけでなく、文化財周辺の地域住民との連携・協力が必要であることから、「文化財防火デー」においては、そのような地域の連携体制の構築・強化のため、地域住民に対する防火・防災意識の高揚に努めるものとする。

第65回文化財防火デーにおける消防訓練の様子



護国寺（東京都文京区）



法隆寺（奈良県生駒郡）【写真提供 斑鳩町】

○第66回文化財防火デー主な消防訓練場所（予定）

場所 東京国立博物館（東京都台東区）

日程 令和2年1月20日（月）

場所 姫路城（兵庫県姫路市）

日程 令和2年1月26日（日）

※その他の地域における訓練等の予定につきましては、最寄りの消防署へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

消防庁予防課予防係 吉田、道川

TEL: 03-5253-7523